

1 コースを設置する高校の校長へのアンケートやヒアリングのまとめ (第1回部会資料より)

(1) 良さ

- ・生徒自らが選択して学んでいるため、進路目標が明確であり、学習への満足度が高い。
- ・コースの教育内容を軸として、地域や大学等と積極的に連携を進めることができる。
- ・校外で成果を発表する機会が多く、プレゼンテーション能力を身につけることができる。

(2) 課題

- ・定員を超える希望者がいることで選抜しているコースがある一方で、定員が充足しないコースもある。
- ・時代の変化に伴い、コースの種類によっては教育内容が一般化・標準化している。
- ・設置している地域や学校に限られているため、生徒の居住地によっては学びたいコースに通えない。

2 第1回部会での主な意見

(1) 学び・カリキュラム

- ・コースの人数が少ないからこそ実習やフィールドワークなどで融通が利く面があり、魅力になっている。
- ・全ての生徒にコースの基礎科目を履修させれば、コースの学びに関する理解が深まるかもしれないが、その分大学受験に必要な科目を削ることになり、理解が得られない可能性がある。
- ・他コースへの進路変更が柔軟にできるカリキュラムが生徒にとって望ましいが、履修順序や教育内容の違い等の課題があり難しい。
- ・本校にコースが設置されている背景には、地元の小学校でコースにつながる学びが盛んであり、その子たちが本校に入学しているところにある。地域のニーズを踏まえた学びができるコースとすることが大事である。

(2) 選択時期

- ・学びを深めるためには3年間が必要と考えており、1年生から選択させている。
- ・2年生からコースを選択させている。1年生のうちに丁寧にコースの特徴を説明しているため、希望者が多い。さらに本年度から、コースが行っている研究を体育館で発表することを始める。それを1年生が見ることで興味関心を持ち、さらに選択する生徒が増えることを期待している。

(3) 定員

- ・希望者が定員を超えてコースに入れたい生徒もいるが、コースの学びを普通コースでも体験できるようにしている。
- ・コースの定員は学校長の裁量で柔軟に設定できるようにしてもよいのではないかと。

(4) 生徒募集・周知

- ・生徒募集で苦労したときもあったが、「幅広い学びができ、進路も限定されない」というコース制の良さを地域に説明することで改善された。
- ・中学校の保護者からは、コースは入口は見えやすいが出口が見えにくいとの意見が多い。
- ・出口が多様であるから、上手く発信することが難しい。
- ・コース制の魅力は中学校も感じているが、3年間学ぶことで、どのようなキャリアにつながるのかがより明確になると良い。

(5) 専門学科への改編

- ・コースを専門学科にすることで、特徴をもっと前面に出した学校があってもよいのではないかと。
- ・コースには専門的な内容を学ぶことに加えて、普通科の幅広い学びもできるという専門学科にはない普通科ならではの良さがある。

2 アンケート調査の結果について

8月3日（土）、4日（日）に開催した「愛知県立高校進学フェア」の来場者にコース制に関するアンケートを実施した。

回答対象：全来場者（名古屋・西三河・東三河の3会場合計で8,312名）
回答者数：1,392名（回答率16.7%）

【表1：回答者内訳】

	全体	中学生	保護者	中学校教諭	その他
人数	1,392	1,180	206	2	4
構成比		84.8%	14.8%	0.1%	0.3%

① 県立普通科高校の中には、コース制を設置して専門科目を学べる高校があります。そのような高校を知っていますか？

回答対象：全来場者

		全体	中学生	保護者	中学校教諭	その他
回答者数		1,392	1,180	206	2	4
はい	人数	991	834	152	2	3
	割合	71.2%	70.7%	73.8%	100%	75.0%
いいえ	人数	401	346	54	0	1
	割合	28.8%	29.3%	26.2%	0%	25.0%

② 県立普通科高校にコースを設置してあることが、志望校を決める際に影響しますか？

回答対象：①で「はい」と回答した来場者

		全体	中学生	保護者	中学校教諭	その他
回答者数		991	834	152	2	3
影響する	人数	517	433	81	2	1
	割合	52.2%	51.9%	53.3%	100%	33.3%
影響しない	人数	474	401	71	0	2
	割合	47.8%	48.1%	46.7%	0%	66.7%

《参考》全回答者数(表1)に対して、「影響する」と回答した割合

	全体	中学生	保護者	中学校教諭	その他
割合	37.1%	36.7%	39.3%	100%	25.0%

③ 県立普通科高校に設置しているコースのうち、あなたが学んでみたい、興味のあるコースの分野を教えてください。（複数選択）

回答対象：中学生のみ

回答者：1,180名

《参考》

	回答数	割合	県全体の定員 (1学年あたり)	定員充足率
コースに興味はない	320	27.1%		
国際	310	26.3%	300	53.5%
理数	235	19.9%	40	100%
情報	206	17.5%	200	59.1%
芸術	141	11.9%	60	80.0%
教育	135	11.4%	60	88.9%
自然、環境	131	11.1%	120	19.0%
医療・看護	113	9.6%	60	98.3%
企業連携	80	6.8%	80	73.8%
観光	54	4.6%	40	85.0%
福祉	48	4.1%	60	46.3%

➡学んでみたい、興味のあるコース分野の調査では、ほとんどの分野で県全体の定員を超える人数が選択した。なかでも「理数」「芸術」「教育」「医療看護」は定員を大きく上回った。

④ 上記以外に普通科高校で学んでみたいコースの分野がありましたら、お書きください。（自由記述） 回答対象：中学生のみ

	回答数		回答数
スポーツ	11	多言語	2
食物	7	商業	2
経済・経営	5	心理	2
プログラミング	4	服飾	2
建築	4	美容	2
動物	4	保育	2
調理	3	法律	2
AI関係	3	薬学	2
デザイン	2	栄養・養護教諭養成	2
お金	2	ウエディング、グローバルビジネス、マーケティング、ロボット、英会話、芸能、航空宇宙、生物、声優、探究	各1
ペットトリミング	2		

3 現状の整理

- コースは生徒の学習への満足度が高かったり、コースの教育内容を軸として地域や大学との連携を進めたりできる良さがある。
- 進学フェアのアンケート結果では、普通科コース制は中学生に一定程度認知されているが、必ずしも進路選択に影響しておらず、入学に結び付いていない。
- コースの設置されている地域に偏りがあったり、コースによっては中学生のニーズと定員のミスマッチがあったりする。
- コースで学ぶことでどのような進路につながるのかが見えにくいため、中学生・保護者が積極的に選択しづらい。

4 第2回部会での論点

- (1) 時代の変化や学びのニーズに応じたコースへのリニューアルについて

<対応案>

- ① 教育内容のリニューアル
- ② 専門学科等への改編、増設・廃止

- (2) 卒業後の進路の発信に関する工夫について

<対応案>

コースの卒業生の進路状況をホームページやパンフレットなどで分かりやすく発信していく。

1 第1回部会における主な意見

- ・ 東海4県の普通科校長会で、普通科高校の魅力化・特色化の核は「総合的な探究の時間」であるという話があった。
- ・ 普通科の魅力化には「生きる力」を高めることが必要で、「総合的な探究の時間」にもっと力を入れるべきである。
- ・ 「総合的な探究の時間」では生徒が自ら問いを見つけて、教員は見守ることが大切である。その際、大事なことはアウトプットの方法である。
- ・ 「総合的な探究の時間」に対する教員の負担は当然あるので、教員が楽しんで、やる気が起きるような工夫をしながら進めている。
- ・ 各高校の魅力を広く知ってもらう必要があり、そのためには体験入学の機会を増やしたり、HPで紹介動画が閲覧できたりするようになるとうい。
- ・ 各高校のHPの更新や中学校への訪問を専任で行う職員が配置されれば、効果的な広報が可能になるのではないかと。
- ・ 「学校の特色化」と「普通科の魅力化」は混同しないことが大切である。高校生の7割が通う普通科は、バランスが良い点にこそニーズがある。バランスの良さを、より高い質で実現することが「普通科の魅力化」である。
- ・ 「普通科の魅力化」を実現するには教員が「自分ごと」としてとらえ、たくさん働かなければならないが、「働き方改革」の時代であり、難しい面がある。
- ・ 日常の教育活動を行いながら学校を変えていくには、人的・時間的な余裕を生み出すための教育委員会のサポートが必要である。

2 第1回部会後の対応

- 第1回部会資料でまとめた「特色ある取組事例」を全高校に周知した。(8月5日に各校へ送信)
- 各高校の魅力・特色ある取組事例の投稿を受付け、教育委員会のX(旧Twitter)でタイムリーに発信している。(9月2日に各校に通知)

【10月3日現在】11校から投稿依頼あり



各高校の魅力を中学生・保護者に理解してもらうために、引き続き特色ある事例を収集して積極的に発信していく。

参考 アンケート調査の結果について

8月3日(土)、4日(日)に開催した「愛知県立高校進学フェア」の来場者に進学ニーズに関するアンケートを実施した。

質問: 志望校を決める際に、何を重視しますか?(複数選択可)

回答対象: 中学生のみ 回答者: 1,180名

	回答数	割合
自分の学力にあっているか	875	74.2%
学校の雰囲気	849	71.9%
部活動	628	53.2%
通学時間	628	53.2%
学びたい教育内容がある	401	34.0%
学校行事	395	33.5%
進学実績	378	32.0%
校則	299	25.3%
施設、設備	237	20.1%
家族の意見	227	19.2%
友人や先輩の意見	98	8.3%
その他	52	4.4%